

統計で見る

Kraao

九州林業の概要

令和7年度版



鉄肥杉（宮崎県）

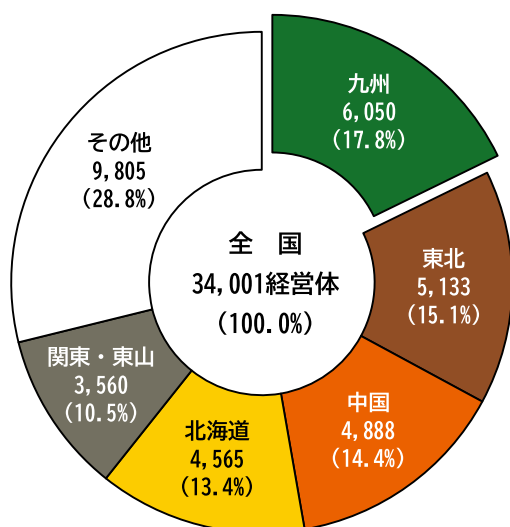
令和7年6月
九州農政局 統計部

1. 林業経営体 - Forestry management entity -

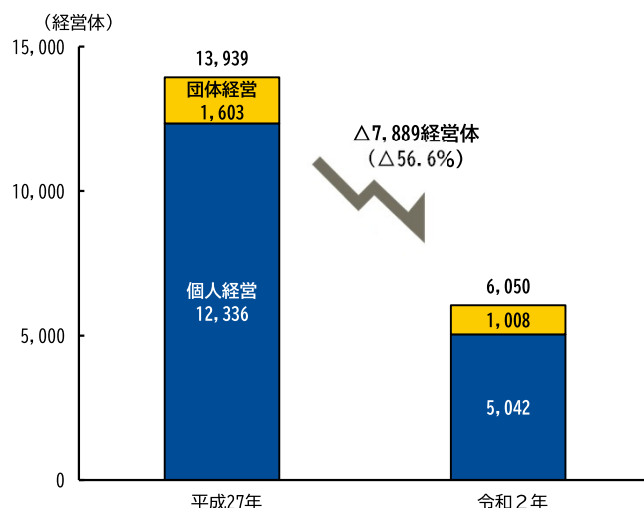
九州の林業経営体は5年前に比べ57%減少。

令和2年における九州の林業経営体は6,050経営体で、全国の17.8%を占めていますが、5年前（平成27年）に比べ7,889経営体（56.6%）減少しています。

農業地域別 林業経営体（令和2年）



林業経営体の動き（九州）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」（以下同じ）

注：林業経営体とは、次の1又は2のいずれかに該当するものです。

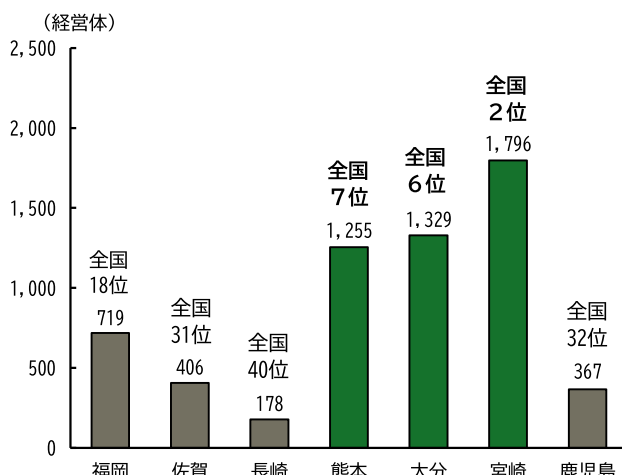
1. 保有山林面積が3ha以上で、かつ、調査期日前5年間に林業経営（育林・伐採）を行った者、又は、調査実施年をその計画期間に含む「森林経営計画」を作成している者。
2. 委託を受けて素材生産又は立木を購入して素材生産を行っている者（調査期日前1年間に200㎡以上の素材生産した者に限る。）。または、素材生産以外の林業サービス（育林作業）を行っている全ての者。

九州では宮崎県が最も林業経営体数が多い。

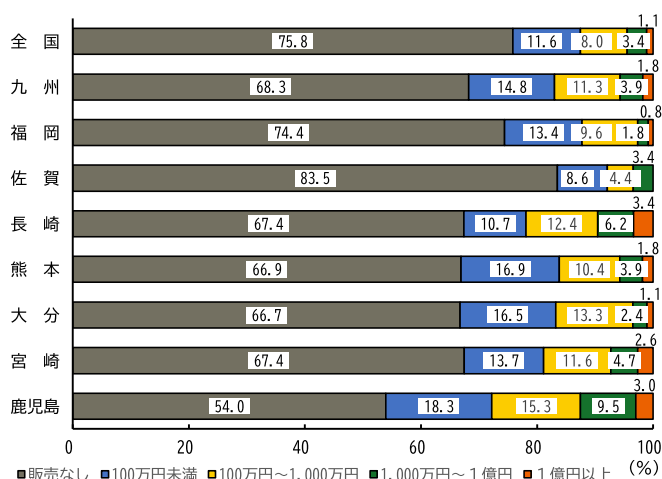
九州各県の林業経営体数をみると、宮崎県が1,796経営体（全国2位）が最も多く、次いで大分県が1,329経営体（同6位）、熊本県が1,255経営体（同7位）と続いています。

一方で、林産物販売規模別の林業経営体の割合をみると、販売があった経営体の割合は鹿児島県（46.0%）が最も大きく、他の県は40%を下回っています。

九州県別 林業経営体（令和2年）



林産物販売規模別林業経営体割合（令和2年）



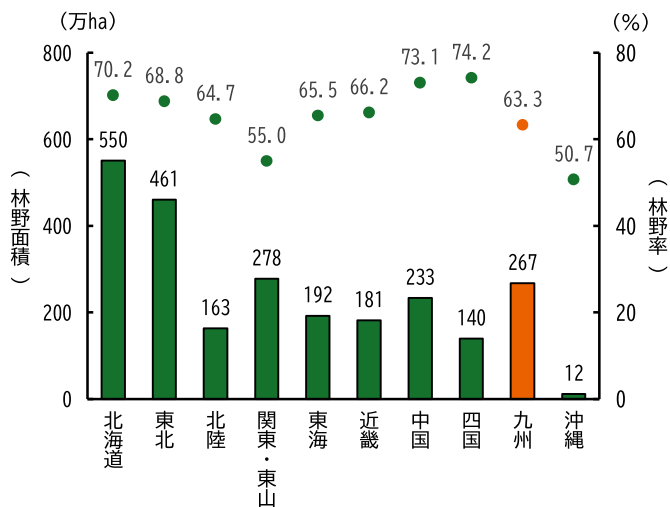
2. 林野面積 - Forest Area -

九州の林野面積は全国の11%。

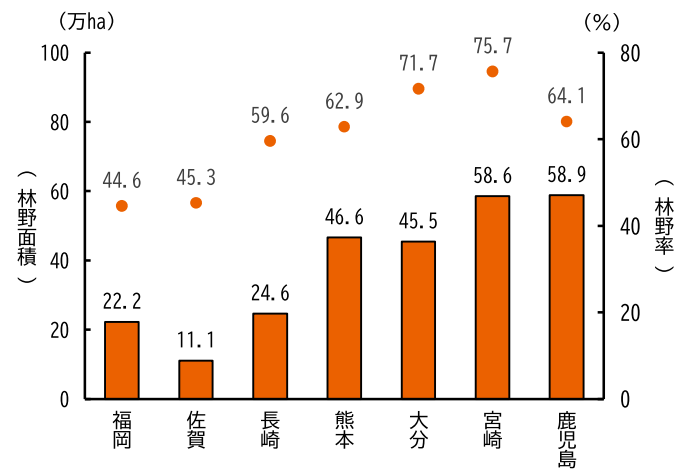
九州の林野面積は267万haで、全国の10.8%を占めています。また、総土地面積に対する林野率は63.3%となっています。

県別にみると、鹿児島県が58.9万ha（林野率64.1%）で最も大きく、次いで宮崎県が58.6万ha（同75.7%）、熊本県が46.6万ha（同62.9%）、大分県が45.5万ha（同71.7%）と続いています。

農業地域別 林野面積及び林野率（令和2年）



九州県別 林野面積及び林野率（令和2年）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」（以下同じ）

注：林野率算出の際には、北方領土及び竹島の面積を差し引いた総土地面積を使用しています。

九州では63市町村が林野率70%以上。

九州の233市町村のうち、林野を有しているのは228市町村です。

また、63市町村が林野率70%以上で、そのうち9市町村が林野率90%以上となっています。

林野率が高い市町村（令和2年）

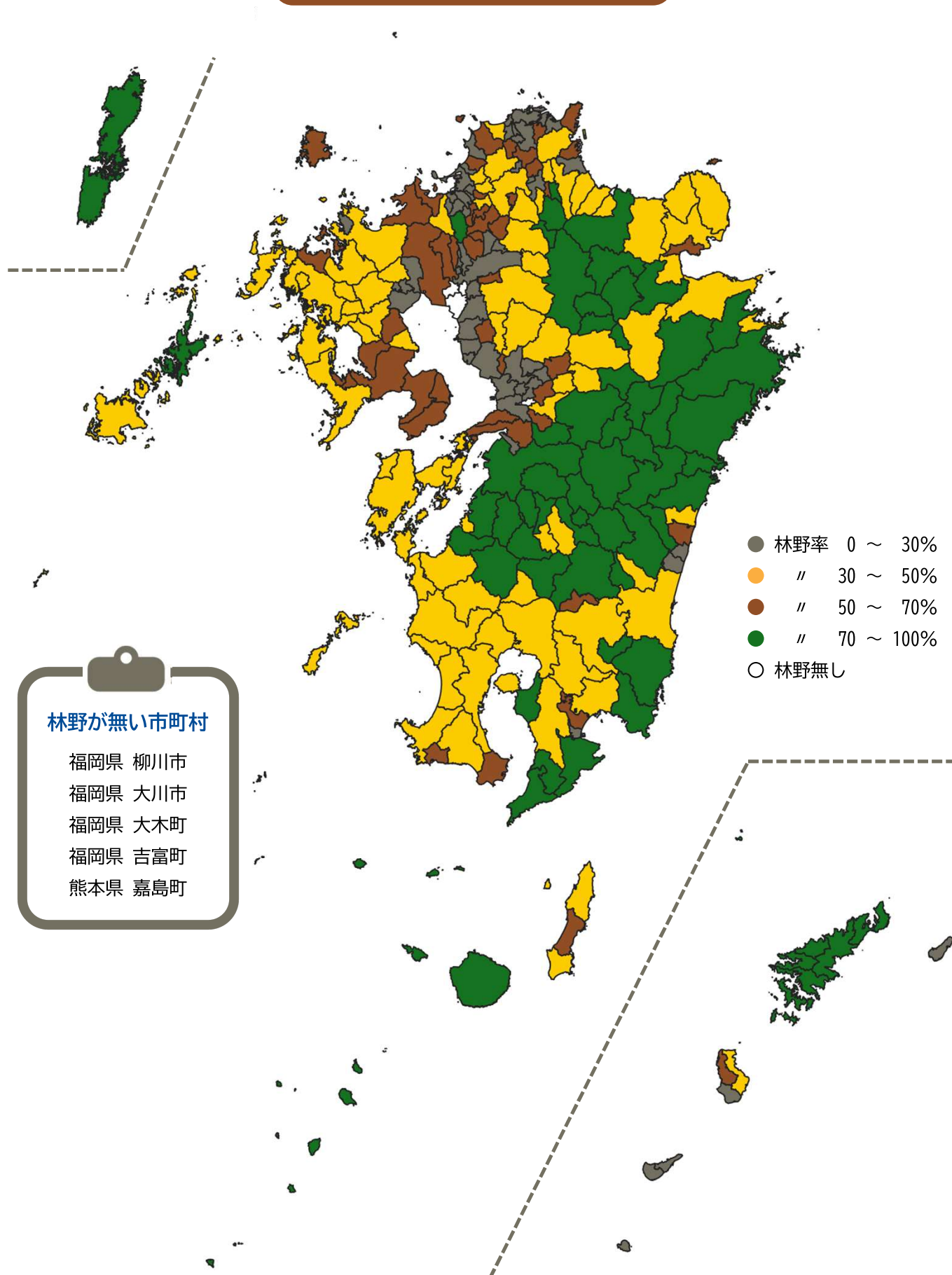
県・市町村名	総土地面積	林野面積	林野率
	千ha	千ha	%
宮崎県 西米良村	27.2	25.7	94.7
熊本県 五木村	25.3	23.8	94.2
宮崎県 椎葉村	53.7	50.5	94.1
宮崎県 諸塚村	18.8	17.3	92.2
熊本県 水上村	19.1	17.5	91.7
鹿児島県 宇検村	10.3	9.4	91.2
宮崎県 日之影町	27.8	25.2	90.8
鹿児島県 三島村	3.1	2.8	90.7
鹿児島県 大和村	8.8	7.9	90.0
鹿児島県 屋久島町	54.0	48.4	89.5

林野率が低い市町村（令和2年）

県・市町村名	総土地面積	林野面積	林野率
	千ha	千ha	%
福岡県 大刀洗町	2.3	0.0	0.0
福岡県 筑後市	4.2	0.0	0.2
熊本県 長洲町	1.9	0.0	1.7
福岡県 小郡市	4.6	0.1	2.6
福岡県 志免町	0.9	0.0	2.9
鹿児島県 与論町	2.1	0.1	4.1
福岡県 春日市	1.4	0.1	4.5
福岡県 中間市	1.6	0.1	5.1
福岡県 粕屋町	1.4	0.1	5.1
鹿児島県 和泊町	4.0	0.3	7.5

2. 林野面積（つづき）

市町村別林野率（令和2年）



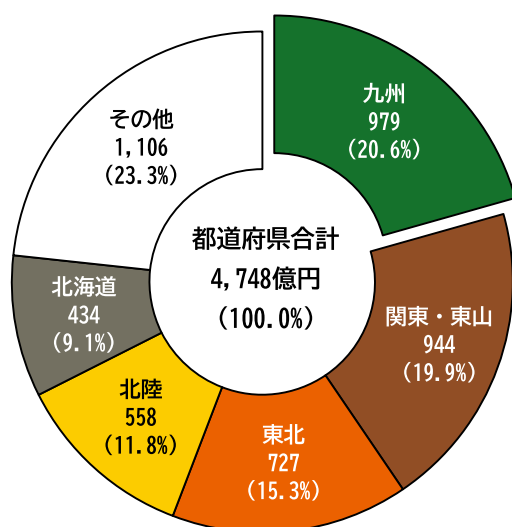
3. 林業産出額 - Forestry Output -

九州の林業産出額は全国の約2割。

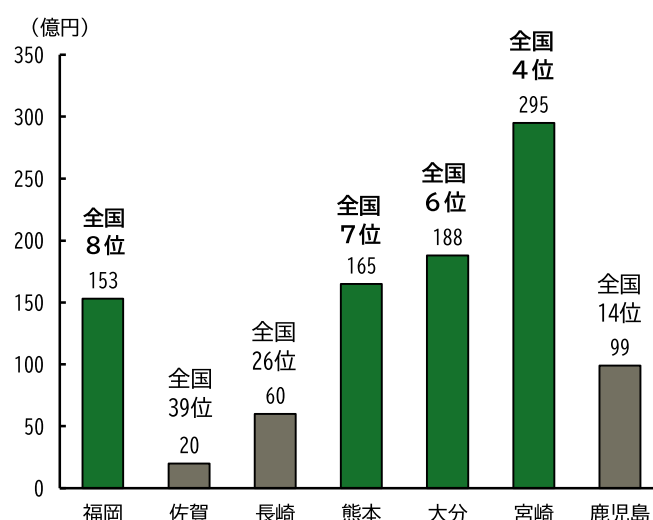
令和5年における九州の林業産出額は979億円で、全国の約2割を占めています。

県別にみると、宮崎県が295億円（全国4位）で最も産出額が大きく、次いで大分県が188億円（同6位）、熊本県が165億円（同7位）、福岡県が153億円（同8位）と続いており、九州では4県が全国上位10位以内に位置しています。

農業地域別 林業産出額（令和5年）



九州県別 林業産出額（令和5年）

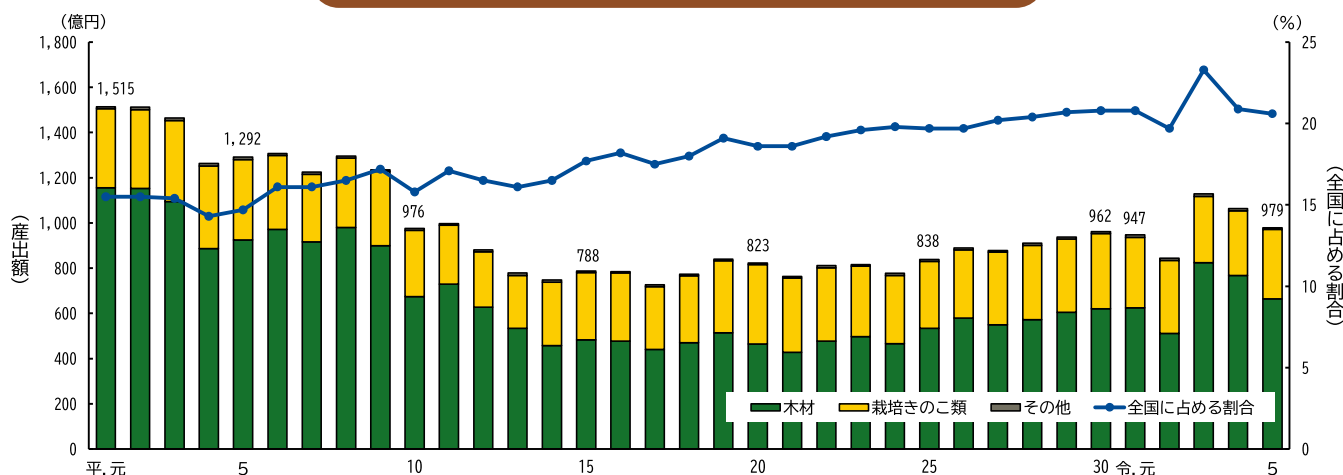


資料：農林水産省統計部「林業産出額」（以下同じ）

九州の林業産出額は近年増加傾向で推移。

九州の林業産出額の推移をみると、木材価格の低下に伴う国産材の生産量の減少を主たる要因として、平成14年までは減少傾向で推移していましたが、その後は横ばいで推移し、平成25年からは増加傾向に転じ、全国に占める割合も徐々に高くなっています。（令和2年は製材用素材等の生産量の減少に伴い減少。）

林業産出額及び全国に占める割合の推移（九州）



注1：林業産出額とは、1月～12月における都道府県別の品目別生産量に価格を乗じて推計したものです。

注2：林業産出額には、パルプ用製材、輸出丸太、燃料用チップ、まき、木ろう及び生うるしは含まれていません。

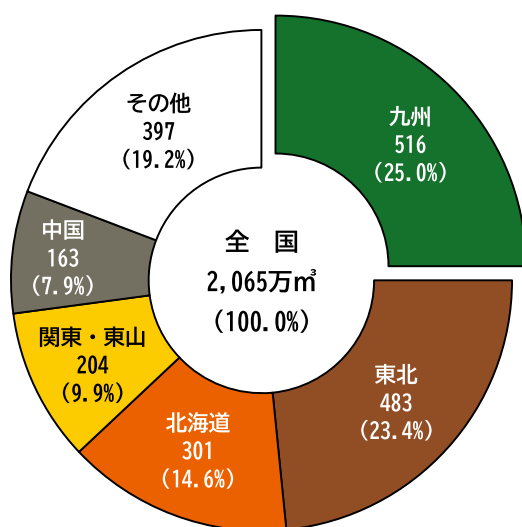
4. 素材生産 - Lumber Production -

九州の素材生産量は全国の25%。

令和5年における九州の素材生産量は516万 m^3 で、全国の25.0%を占めています。

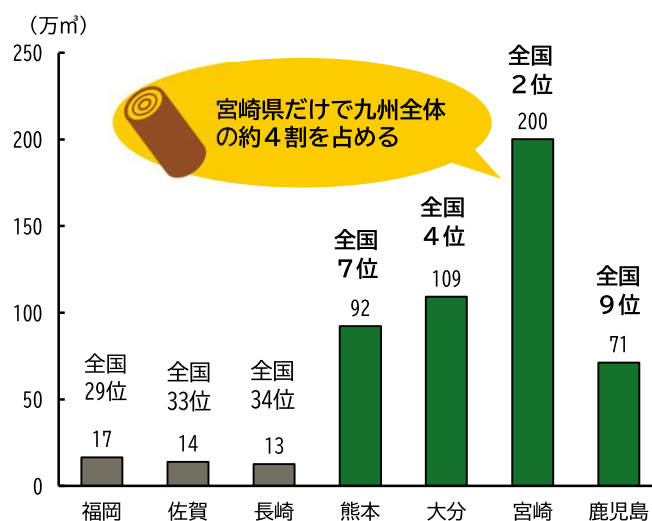
県別にみると、宮崎県が200万 m^3 （全国2位）で最も素材生産量が多く、次いで大分県が109万 m^3 （同4位）、熊本県が92万 m^3 （同7位）、鹿児島県が71万 m^3 （同9位）と続いており、九州では4県が全国上位10位以内に位置しています。

農業地域別 素材生産量（令和5年）



資料：農林水産省統計部「木材需給報告書」（以下同じ）

九州県別 素材生産量（令和5年）

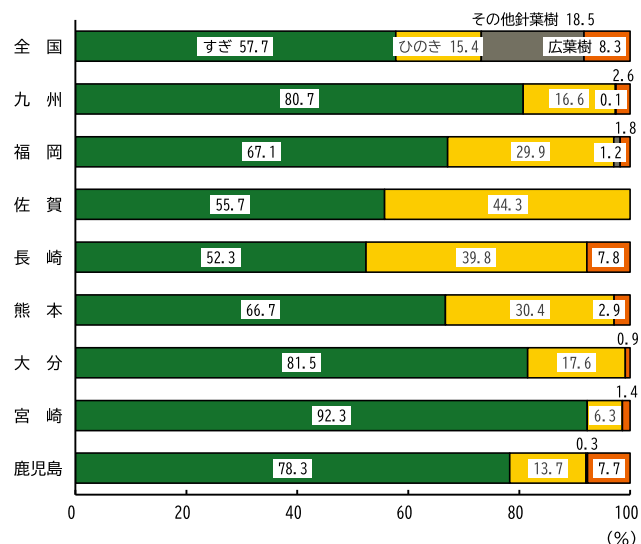


九州の素材生産は全国に比べ「すぎ」の割合が高い。

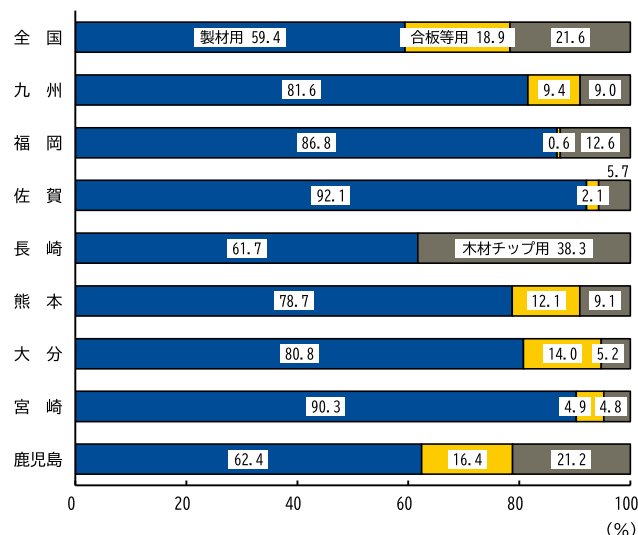
九州の素材生産量を樹種別にみると、全国に比べ「すぎ」の割合が高く全体の約80%を占めており、「ひのき」を合わせると全体の95%以上を占めます。

また、部門別にみると、県によってバラつきはあるものの、全ての県において全国に比べ「製材用」の割合が高い傾向にあります。

樹種別 素材生産量（令和5年）



部門別 素材生産量（令和5年）



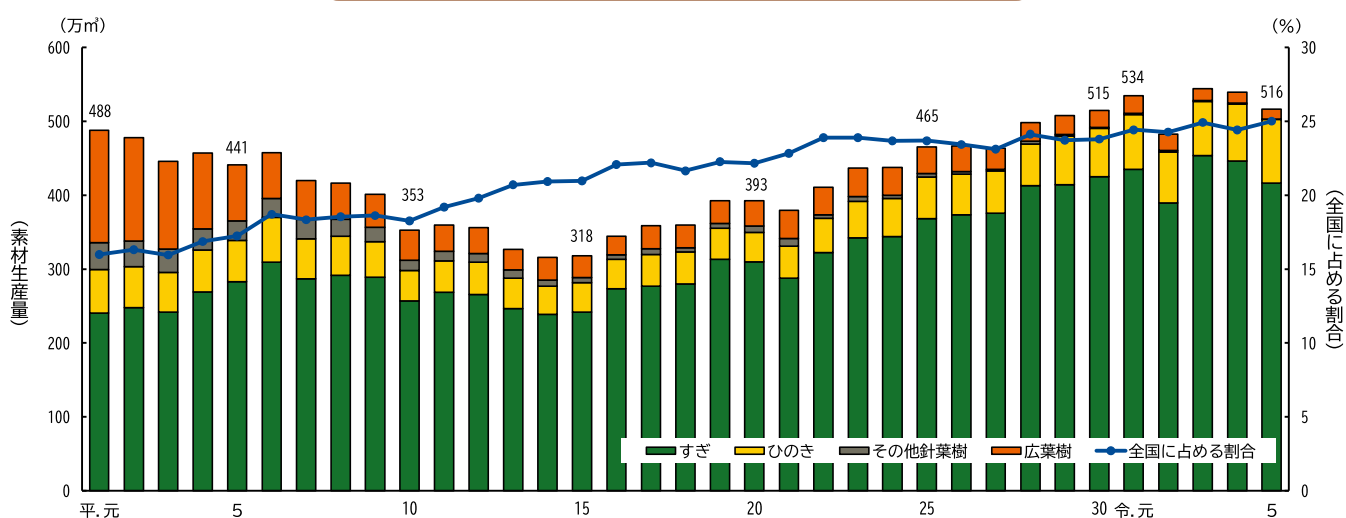
4. 素材生産（つづき）

九州の素材生産量は近年増加傾向で推移。

九州の素材生産量の推移をみると、平成14年までは減少傾向で推移していましたが、その後は増加傾向で推移しています。

一方で、全国に占める割合の推移をみると、素材生産量の推移と異なり、常に上昇傾向で推移しており、平成元年の16.0%から令和5年は25.0%にまで上昇しました。

素材生産量及び全国に占める割合の推移（九州）



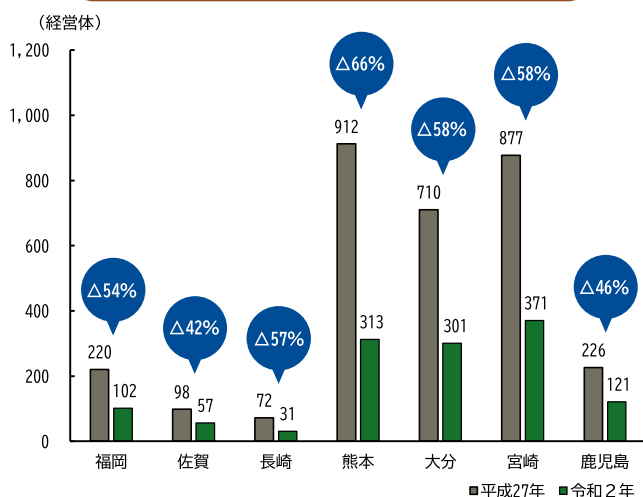
資料：農林水産省統計部「木材需給報告書」

経営体数が減少する一方で、1経営体当たりの素材生産量は大幅に増加。

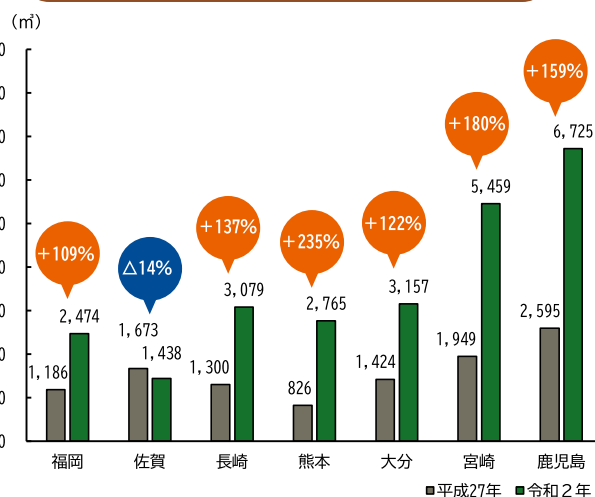
九州の素材生産量を行った経営体数の変化（平成27年 → 令和2年）をみると、全ての県において減少しています。

一方で、1経営体当たりの素材生産量をみると、佐賀県を除いて大幅に増加しており、特に、熊本県、宮崎県及び鹿児島県については150%を超える増加率となっています。

素材生産を行った経営体数の動き



1経営体当たりの素材生産量の動き



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

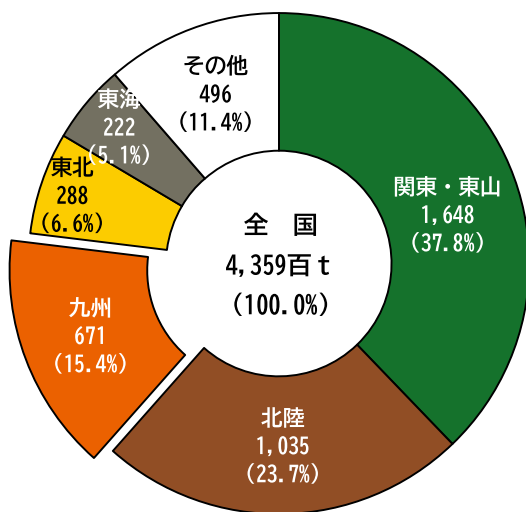
5. きのこと類生産 - Mushroom Production -

九州のきのこと類の生産量は全国の15%。

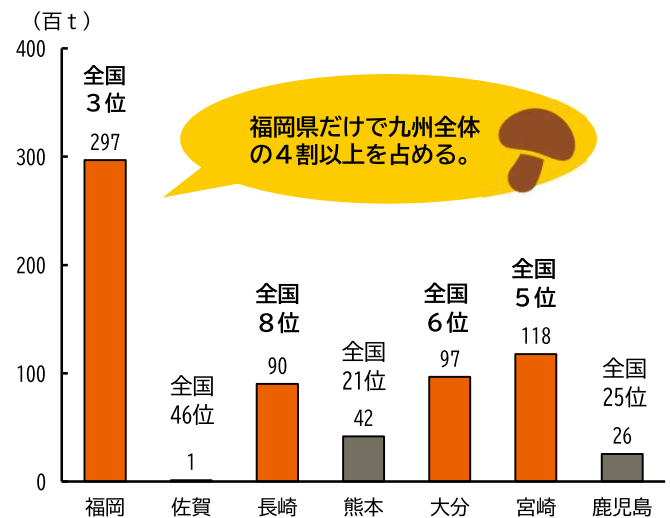
令和5年における九州のきのこと類の生産量は671百tで、全国の15.4%を占めています。

県別にみると、福岡県が297百t（全国3位）で最も生産量が大きく、次いで宮崎県が118百t（同5位）、大分県が97億円（同6位）、長崎県が90億円（同8位）と続いており、九州では4県が全国上位10位以内に位置しています。

農業地域別 きのこと類生産量（令和5年）



九州県別 きのこと類生産量（令和5年）



資料：農林水産省統計部「特用林産物生産統計調査」（以下同じ）

乾しいたけの生産量は、九州が上位を独占。

きのこと類生産量の全国順位を品目別にみると、乾しいたけでは大分県、宮崎県及び熊本県が全国上位3位以内に位置しており、えのきたけでは宮崎県、福岡県及び大分県の3県が全国上位5位以内に位置しています。

順位	きのこと類総計			乾しいたけ（生換算値）			生しいたけ		
	都道府県	生産量	全国シェア	都道府県	生産量	全国シェア	都道府県	生産量	全国シェア
		百t	%		百t	%		百t	%
1	長野	1,436	33.0	大分	46	36.0	徳島	72	11.4
2	新潟	962	22.1	宮崎	22	17.1	岩手	43	6.8
3	福岡	297	6.8	熊本	13	10.3	群馬	39	6.2
4	北海道	150	3.4	愛媛	7	5.5	秋田	38	5.9
5	宮崎	118	2.7	岩手	6	4.5	北海道	36	5.6

順位	えのきたけ			ぶなしめじ			まいたけ		
	都道府県	生産量	全国シェア	都道府県	生産量	全国シェア	都道府県	生産量	全国シェア
		百t	%		百t	%		百t	%
1	長野	686	58.3	長野	477	40.5	新潟	356	64.5
2	新潟	176	15.0	新潟	210	17.8	静岡	48	8.7
3	宮崎	69	5.9	福岡	162	13.8	福岡	37	6.8
4	福岡	54	4.6	香川	52	4.4	長野	26	4.7
5	大分	27	2.3	茨城	31	2.6	北海道	25	4.5

注：えのきたけ、ぶなしめじ、まいたけは、秘匿措置の都道府県を除いた全国順位です。

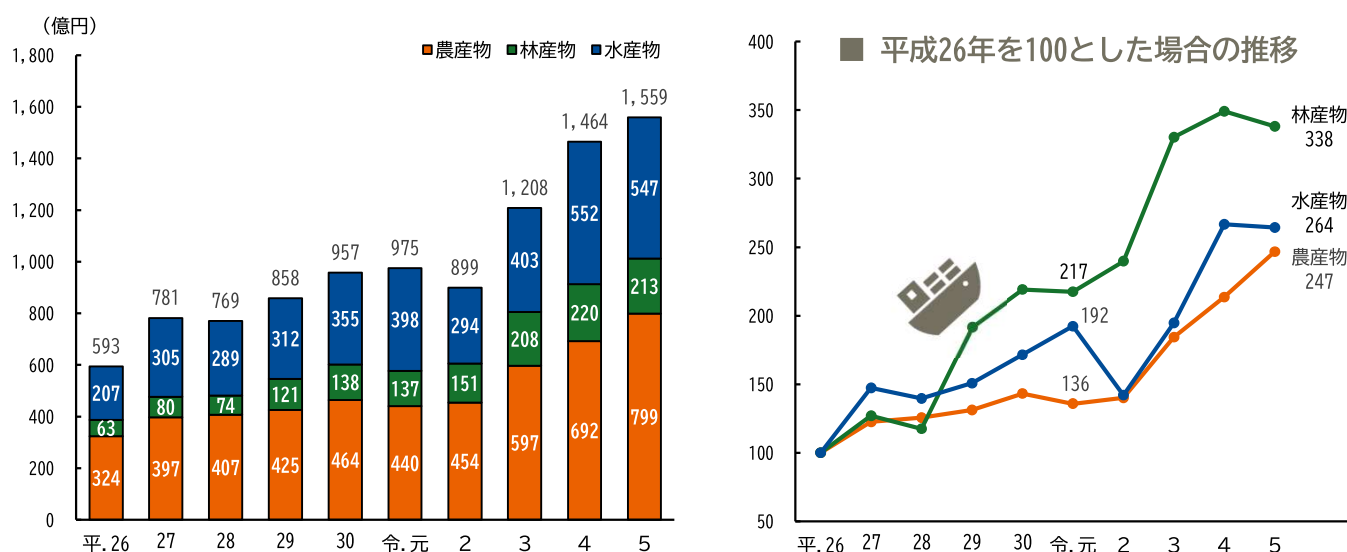
6. 林産物の輸出 - Export Of Forest Products -

九州の林産物の輸出額は増加傾向で推移。

令和5年における九州の港等からの農林水産物・食品輸出額は1,559億円で、そのうち、林産物は13.7%（213億円）を占めています。

農産物及び水産物に比べ輸出額全体に占める割合は低いものの、平成26年を100とした場合の推移をみると、平成29年以降は農産物及び水産物を上回る伸び率となっています。

農林水産物・食品輸出額の推移（九州地域税関分）



資料：九州農政局『見たい！知りたい！九州農業』

注：財務省貿易統計をもとに、九州地域の港等からの輸出額を九州農政局で参考集計したもの。

林産物の主な輸出先はアジアやアメリカ。

九州の林産物輸出は、品目としては木材が中心であり、また、主な輸出先はアジア諸国及びアメリカとなっています。

九州の林産物の主な輸出品目と輸出先（令4年度）

● 長崎県

輸出品目：木材
輸出先：中国、韓国
輸出額：2.2億円

● 熊本県

輸出品目：木材
輸出先：中国、韓国、アメリカ等
輸出額：33.4億円

● 大分県

輸出品目：木材（丸太、製材）
輸出先：中国、台湾、フィリピン等
輸出額：22.4億円

● 宮崎県

輸出品目：木材
輸出先：中国、台湾、韓国等
輸出額：76.8億円

● 鹿児島県

輸出品目：木材（丸太等）
輸出先：中国、アメリカ、台湾等
輸出額：33.8億円

資料：九州農政局『見たい！知りたい！九州農業』

注：各県からの聞き取りによる。

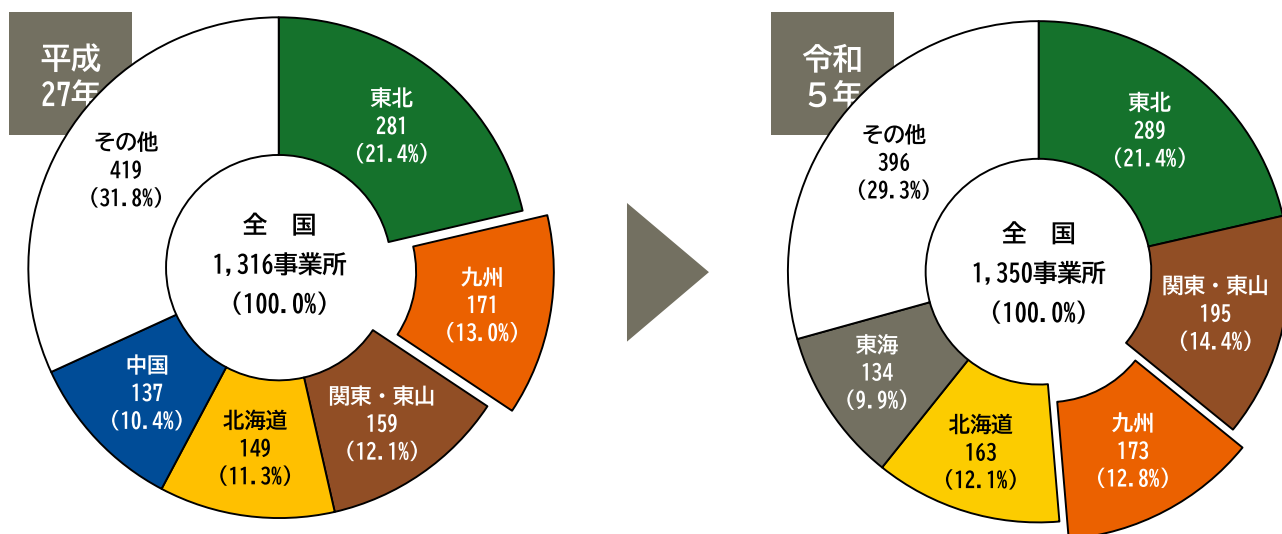
7. 木質バイオマス - Woody Biomass -

九州の木質バイオマスエネルギー利用事業所数は173事業所。

木質バイオマスには、主に、樹木の伐採・造材時に発生した枝及び葉等の林地残材、製材工場等から発生する樹皮及びのこ屑等のほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝等の種類があります。

令和5年における九州の木質バイオマスエネルギー利用事業所数は173事業所で、全国の12.8%を占めており、8年前（平成27年）に比べ2事業所増加しています。

農業地域別 木質バイオマスエネルギー利用事業所数



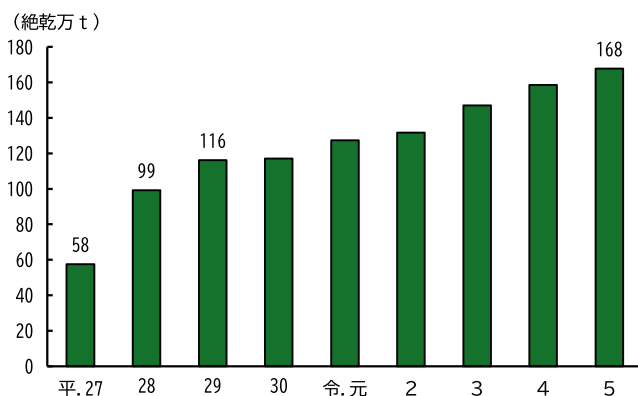
資料：農林水産省統計部「木質バイオマスエネルギー利用動向調査」（以下同じ）

間伐材・林地残材等は大幅に増加。

九州における木質バイオマスエネルギーに利用された木材チップの量は常に増加傾向で推移しています。

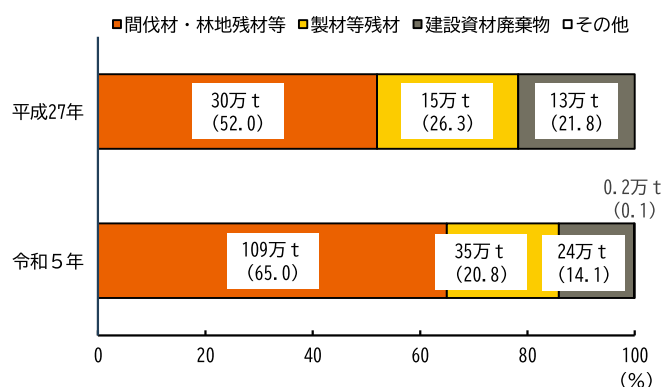
また、木材チップの由来別割合をみると、間伐材・林地残材等が最も大きく、8年前（平成27年）に比べ利用量及び割合ともに大幅に増加していることから、林地未利用材の活用が進んでいるといえます。

木材チップ利用量の推移（九州）



注：平成30年～令和4年に佐賀県は含まれていません。
（秘匿措置のため）

木材チップの由来別割合（九州）
（平成27年・令和5年）



8. 九州林業に関する主要統計指標

項 目	単 位	年 次	全 国	九 州	全国シェア	摘 要 (資 料 名)
林野面積	千ha	令和2年	24,770.2	2,674.6	10.8%	2020年農林業センサス
現況森林面積	〃	〃	24,436.3	2,649.5	10.8%	〃
森林以外の草生地	〃	〃	333.9	25.1	7.5%	〃
林野率	%	〃	66.4	63.3	95.3%	〃
林業経営体	経営体	令和2年	34,001	6,050	17.8%	2020年農林業センサス
個人経営	〃	〃	27,776	5,042	18.2%	〃
団体経営	〃	〃	6,225	1,008	16.2%	〃
うち、法人経営	〃	〃	4,093	632	15.4%	〃
製材工場数	工場	令和5年	3,749	620	16.5%	令和5年木材需給報告書
合単板及びLVL工場数	〃	〃	164	...	...	〃
木材チップ工場数	〃	〃	1,119	...	...	〃
林業産出額	千万円	令和5年	47,484	9,794	20.6%	令和5年林業産出額
うち、木材生産	〃	〃	24,810	6,648	26.8%	〃
うち、栽培きのこ類生産	〃	〃	21,981	3,066	13.9%	〃
素材生産量	千m³	令和5年	20,647	5,163	25.0%	令和5年木材需給報告書
製材用	〃	〃	12,271	4,212	34.3%	〃
合板等用	〃	〃	3,909	485	12.4%	〃
木材チップ用	〃	〃	4,467	466	10.4%	〃
きのこ類生産量	t	令和5年	435,937	67,059	15.4%	令和5年特用林産物生産統計調査
うち、しいたけ	〃	〃	76,088	17,570	23.1%	〃
うち、えのきたけ	〃	〃	117,543	...	...	〃
うち、ぶなしめじ	〃	〃	117,924	...	...	〃
木質バイオマスエネルギー利用事業所数	事業所	令和5年	1,350	173	12.8%	令和5年木質バイオマスエネルギー利用動向調査
発電機のみ所有	〃	〃	189	29	15.3%	〃
ボイラーのみ所有	〃	〃	1,077	136	12.6%	〃
発電機及びボイラーの両方を所有	〃	〃	84	8	9.5%	〃

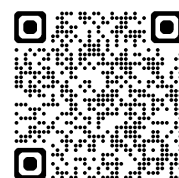
項 目	単 位	年 次	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	宮 崎	鹿児島
林野面積	千ha	令和2年	222.3	110.6	246.3	466.3	454.6	585.9	588.7
現況森林面積	〃	〃	221.8	110.5	241.7	457.6	448.6	584.4	584.8
森林以外の草生地	〃	〃	0.5	0.1	4.6	8.6	5.9	1.5	3.8
林野率	%	〃	44.6	45.3	59.6	62.9	71.7	75.7	64.1
林業経営体	経営体	令和2年	719	406	178	1,255	1,329	1,796	367
個人経営	〃	〃	606	300	114	1,076	1,177	1,535	234
団体経営	〃	〃	113	106	64	179	152	261	133
うち、法人経営	〃	〃	45	58	46	110	93	175	105
製材工場数	工場	令和5年	87	45	42	127	108	120	91
合単板及びLVL工場数	〃	〃	...	...	...	...	...	...	...
木材チップ工場数	〃	〃	...	...	...	...	...	...	...
林業産出額	千万円	令和5年	1,529	202	602	1,648	1,875	2,945	993
うち、木材生産	〃	〃	223	191	146	1,441	1,356	2,439	852
うち、栽培きのこ類生産	〃	〃	1,293	9	450	196	506	487	125
素材生産量	千m³	令和5年	167	140	128	922	1,092	2,001	713
製材用	〃	〃	145	129	79	726	882	1,806	445
合板等用	〃	〃	1	3	-	112	153	99	117
木材チップ用	〃	〃	21	8	49	84	57	96	151
きのこ類生産量	t	令和5年	29,676	138	9,010	4,188	9,683	11,787	2,578
うち、しいたけ	〃	〃	1,107	98	2,789	1,756	6,396	4,395	1,029
うち、えのきたけ	〃	〃	5,364	x	x	1,823	2,656	6,938	1,193
うち、ぶなしめじ	〃	〃	16,231	x	973	61	0	97	157
木質バイオマスエネルギー利用事業所数	事業所	令和5年	19	2	10	57	19	45	21
発電機のみ所有	〃	〃	2	-	-	9	6	7	5
ボイラーのみ所有	〃	〃	15	1	10	48	13	34	15
発電機及びボイラーの両方を所有	〃	〃	2	1	-	-	-	4	1

注：「林業産出額」の全国及び九州は都道府県の合計です。

-
1. 林業経営体
 2. 林野面積
 3. 林業産出額
 4. 素材生産
 5. きのご類生産
 6. 林産物の輸出
 7. 木質バイオマス
 8. 主要統計指標

—— 問合せ先 ——

九州農政局統計部
統計企画課
TEL : 096-211-911



九州農政局「統計情報」